

整備方針

茅ヶ崎市の雨水浸水対策は、相模川、小出川、千ノ川及び駒寄川の河川改修とあわせ、これらの河川流域における下水道の早期整備を図るとともに、河川への雨水流入負荷の低減と地下水の涵養等による水循環に配慮したまちづくりを推進しています。

下水道における整備は、都市計画の一環である公共下水道〔雨水計画（浸水の防除）〕を計画し、河川改修との調整をとりながら、浸水区域の解消を図るため、雨水渠、雨水ポンプ場の整備を進めています。

本排水区は、市の中でも低地部（河川の計画高水位より低い土地が6割以上）にあたり、ポンプ場を必要とした地区であり、速やかに雨水を排除できるよう、ポンプによる強制排水を行います。

《浜之郷排水区》 河川の計画高水位より低いと想定される区域

